

ゆりか 2025・1・4 表だより

4期(1~3月)のねらい
表現活動を通して心を育てよう
卒園・進級を期待しよう



新年あけましておめでとうございます
旧年中は大変お世話になりました。
本年も平和と子どもの幸せを願いつつ、
皆様にとり居心地の良い園づくりをめざします

新型コロナウイルスが猛威を振るっていた頃、感染防止対策として、2階クラスの子どもの送迎を8:00から18:00の時間帯は、玄関での受け渡しを実施していました。お迎えに来た保護者が弟妹の準備をしている間、兄弟が事務室で待つことがあり、その間、それぞれの子が好きなぬり絵や折り紙、なぞなぞやしりとりといったあそびをして待っていました。その時の名残かどうかはわかりませんが、新型コロナウイルスが5類になり、通常保育に戻ってからも「しりとりしよう!」と事務室にやってくる子たちがいます。

このしりとり、幼児は家庭でもぜひやてもらいたいあそびです。現役の保育士時代、「○のつくことば」という頭字さがしや、ことばを音節で区切るゲームなど、子どもたちとよくあそびできました。あそびを通してことばの認識が確かなものになってきたように思います。私は子どもとしりとりをする時には、何度かやりとりをした後に、最後に「ん」のつくことばを言うようにしています。「先生の負け〜!」と勝ち誇った産目を向ける子どもを見るのが大好きです。

4歳児のSくんも帰り際に「しりとり!」とやてきますが、弟のRくんもお兄ちゃんの真似をして事務室に登場するようになりました。

R「しりとり」

私「りんご」

R「ゴリラ」

私「ラーメン」...



しりとりのルールを理解している子は「先生の負け!」となるところですが、

R「ラーメン、ン、ン、ン...」と言った後「そば!」と連想ゲームになってしまいました。これには大笑い。Rくんはまだ2歳児です。ルールにのっとってゲームを楽しむのはもう少し先のようで、大人とかがわてあそぶ楽しさを味わいたからたのでしょう。

事務室の戸は軽く開くとおわれていますが、新しい年になっても、子どもたちにはどんどん来てもらいたいです。

さて、しりとりと言えば、昨年来にス園した園児の名前がなんと、ンから始まる名前です。事務室でのしりとりあそびに変化がでるのか...。今から楽しみにしてありません。